

学士院賞：学士院賞などに10人

簡易検索 2022.03.15 東京朝刊 28頁 総合面 (全999字)

日本学士院は14日、学術上の優れた業績を顕彰する日本学士院賞に9人、自然保護分野の日本学士院エジンバラ公賞に1人の計10人を選んだ。

学士院賞は、生理学・神経科学の河西春郎東京大教授（65）▽日本経済史の武田晴人東大名誉教授（72）▽有機金属化学の侯召民（こうしょうみん）・理化学研究所主任研究員（60）▽物性物理学の齊藤英治東大教授（50）▽地球物理学・気候学・地球惑星科学の**阿部彩子**東大教授（58）▽計算論的神経科学の川人（かわと）光男・国際電気通信基礎技術研究所脳情報通信総合研究所長（68）▽光量子電子工学の野田進京都大教授（61）▽農業農村工学・地盤工学の村上章京大理事・副学長（65）▽医学・医理工学の白土博樹北海道大教授（64）。

河西氏は恩賜賞も受賞した。

エジンバラ公賞は地球科学の大河内直彦・海洋研究開発機構海洋機能利用部門長（55）。

授賞理由は次の通り。

◇日本学士院賞・恩賜賞

河西春郎氏 脳のシナプスが学習に伴って形態や機能を素早く変えることを発見し、分野の発展に世界的貢献をした。

◇日本学士院賞

武田晴人氏 戦前の三大財閥は財閥本社が子会社群の提案を踏まえて経営戦略を決め、資金を調達。活発に活動したと解明。

侯召民氏 有機希土類金属化合物の構造や性質を明らかにして合成技術を開発。新機能材料を創出するなどした。

齊藤英治氏 逆スピンホール効果の発見でスピンの検出原理を確立するなど、スピントロニクス分野を先導した。

阿部彩子氏 10万年周期の氷期-間氷期サイクルの再現に成功するなど、古気候モデリングの礎を築いた。

川人光男氏 人が考えてロボットを思い通りに制御する技術を開発し、精神疾患の診断と治療に新たな道筋を示した。

野田進氏 光の波を極限的に制御する道を開拓。スマート社会に不可欠なレーザーなどに適した高出力、高品質の光ビームを出せることも実証した。

村上章氏 推定精度の高い地盤変形予測法を確立し、ダムの崩壊予測などを可能にした。

白土博樹氏 動いている臓器のがんに正確にエックス線や粒子線を集中させる技術を開発し、新治療法を開拓した。

◇日本学士院エジンバラ公賞

大河内直彦氏 炭素、窒素同位体の自然存在比を精密に測定する分析技術を開発させ、環境解析に成果を上げた。

毎日新聞